

国道1号静岡清バイパス(唐瀬IC～羽鳥IC:4車線化)が開通します。

国道1号静岡清バイパスは、地域高規格道路「静岡東西道路」の一部を構成し、静岡市の環状道路の一部として、交通混雑の緩和、交通安全の確保、静岡都市圏の発展の支援等を目的に計画された静岡市清水区興津東町から静岡市駿河区丸子二軒家に至る延長24.2kmの幹線道路です。

平成9年の全線暫定開通以降、順次「4車線化」「平面区間の立体化」を推進しており、**平成24年2月14日(予定)に唐瀬IC～羽鳥ICが4車線化開通します。**

これまでの開通経緯

【平成9年3月】

- ・静岡バイパス全線暫定開通
(暫定2車線[立体])
(一部平面区間)

4車線化率:26%

【平成18年3月】

- ・千代田上土IC～唐瀬IC間
4車線化

4車線化率:34%

【平成20年3月】

- ・清水IC西～鳥坂IC間 4車線化
- ・昭府地区 暫定2車線立体化

4車線化率:55%

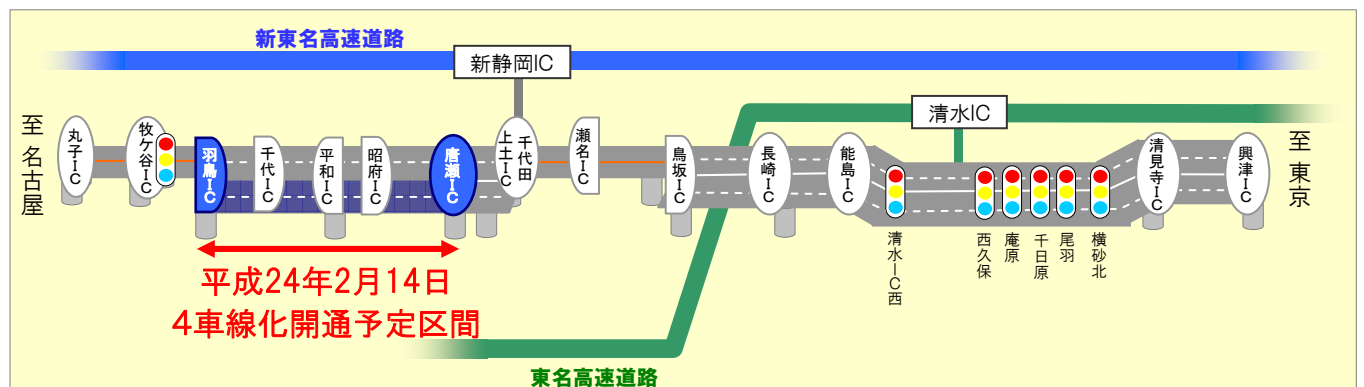
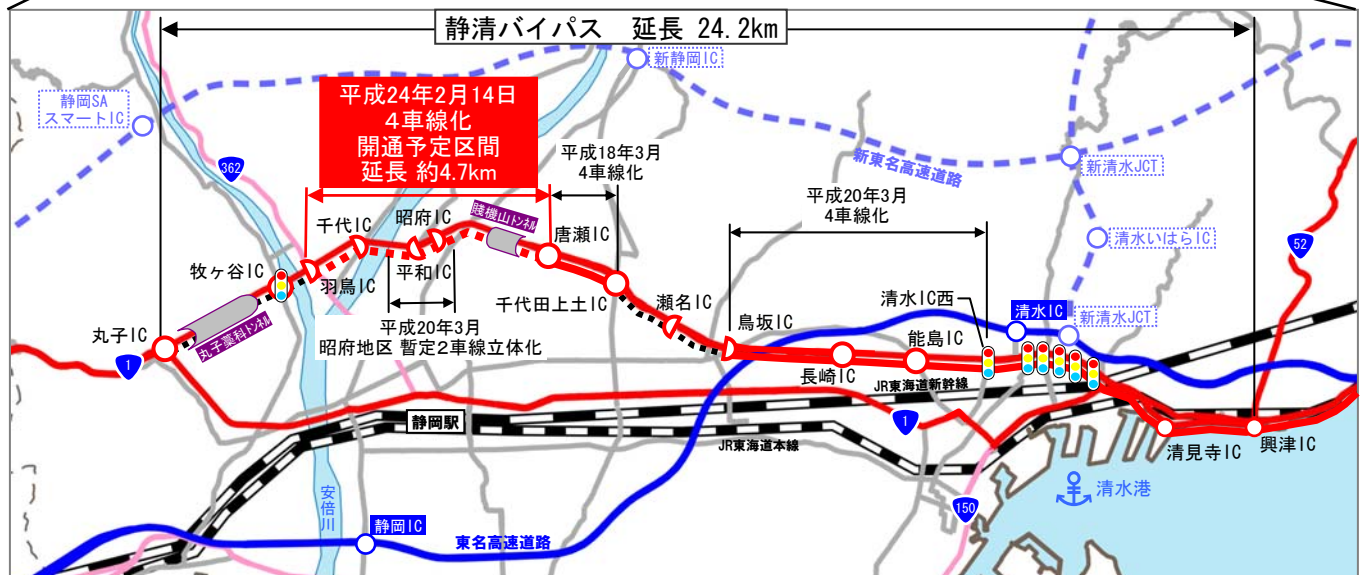


今回の開通予定区間

【平成24年2月14日】

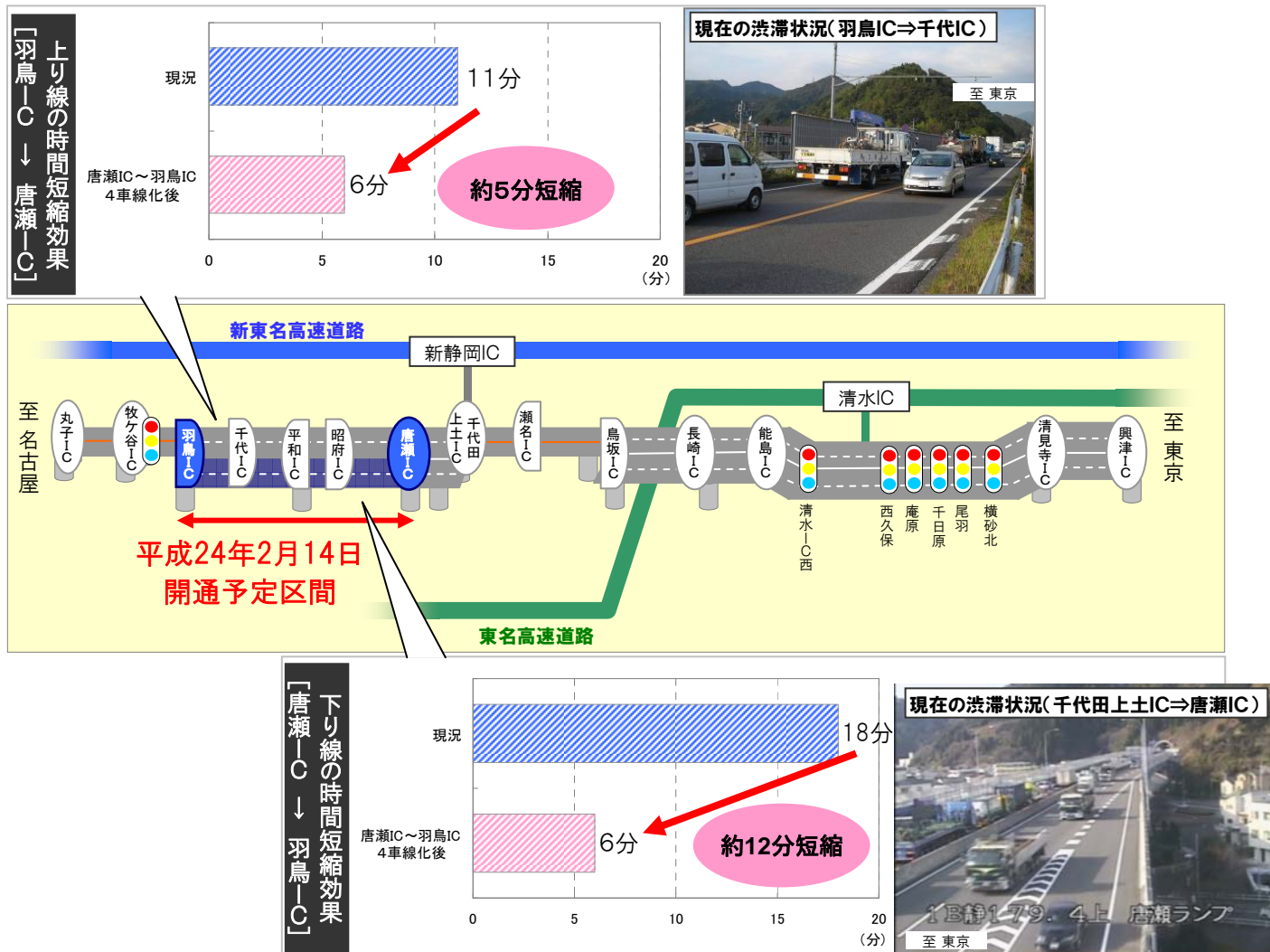
- ・唐瀬IC～羽鳥IC間 4車線化

4車線化率:74%



整備効果①：渋滞緩和による所要時間の短縮

- 静清バイパスは、現在4車線から2車線に車線が減少する区間を中心に慢性的な渋滞が発生しており、バイパスとしての機能(定時性・走行性など)を十分に果たしていない状況です。
- 唐瀬IC～羽鳥IC間の4車線化により、渋滞が緩和し、唐瀬IC～羽鳥IC間の所要時間が上り線で約5分、下り線では約12分の短縮が期待されます。



※民間走行履歴データで取得した所要時間による
 4車線化完成前の唐瀬IC～羽鳥IC間は、平成22年4月～平成23年2月の平日7時台の値を用いた
 4車線化完成後の所要時間は、4車線化済み区間である鳥坂IC～能島ICの平成22年4月～平成23年2月の平日7時台の値を用いて試算した

整備効果②：新東名高速道路から静岡市街地への交通を適切に分散

- 静清バイパスと(主)山脇大谷線の利用により、平成24年初夏開通予定の新東名新静岡ICから静岡市街地へ向かう交通を適切に分散させることが可能になります。
- 静清バイパス(唐瀬IC～羽鳥IC間)の4車線化により、千代田上土ICから東西方向への移動がスムーズになり、市街地からICへのアクセス時間の短縮も期待できます。

